

公共事業再評価調書 (4回目再評価)

主管課： 河川課

1 事業概要 (整備目的)	事業名： 安里川河川改修事業		前再評価年度：平成20年度		
	事業種別： 流域治水対策河川事業	事業主体： 沖縄県	(S47~H27)		
	事業箇所： 那覇市	根拠法令： 河川法	事業期間： S47 ~ H39		
	総事業費(百万円)： 38,737	費用内訳： 補助 9/10	事業量(m) 6,140		
1-2 前再評価以降の計画変更	治水安全度の向上を図り、浸水被害の解消を目指す。また、親水性と環境に配慮した多自然川づくりを目指す。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他()				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他()				
4 事業の進捗状況 (H25.3 時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	38,737	6.14	80.6	
	実施済	20,907	2.02	57.5	
	率	54%	33%	71%	
4-2 前再評価以降の主な進捗	蔡温橋から牧志・安里再開発事業区間の整備を完了した。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 整備期間+50年) (基準年 H25) (単位：百万円)	① 一般資産 102,117 ② 農作物 0 ③ 公共土木施設等 172,986 ④ 間接被害額 49,634 便益(B) 324,737 ⑤ 残存価値 544 基準年換算(B) 186,675	① 建設費 38,737 ② 維持管理費 14,385 費用(C) 53,122 基準年換算(C) 60,434	費用便益比 (B/C) = 186,675 / 60,434 = 3.09		
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	平成23年7月に牧志・安里地区市街地再開発事業が完成し、河川沿川に複合商業施設及び宿泊施設が立地し、「さいおんスクエア」として県民や観光客で賑わっている。 ② 地元・自治体： 集中豪雨による浸水被害が発生していることから、那覇市より早期改修の要望がある。 ③ 利害関係者： 用地買収が難航している地権者がいる。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 事業の進捗により、浸水被害は解消されてきているが、未整備区間においては現況の流下能力が低く、引き続き事業を推進する必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性)： 安里川の河道計画は河道分担流量の低減のため、洪水調節施設として上流部に金城ダム並びに右支川真嘉比川に遊水地が位置づけられている。これら河道計画の前提となる金城ダム(平成12年度完成)、真嘉比遊水地(平成13年度完成)とも既に完成しており、現計画を推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 本河川の計画延長6.14kmのうち、平成24年度までに河口から牧志・安里再開発事業区間の約1.3km、また上流部の真嘉比川0.7kmが概成したことから同区間の浸水被害が軽減された。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等： 再開発事業地区からひめゆり橋(国道330号)間の早期完成を図るとともに、ひめゆり橋から上流の用地・補償に取り組み、予定の事業期間での完成を目指す。 ② 対住民関係： 用地難航箇所においては、任意交渉を行うとともに、土地収用法に基づく手続きも視野に入れた対応を進める。 ③ 執行体制等： 現在の組織体制で鋭意整備に取り組む。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・ 最近突発的な雨が多く、鉄砲水になる可能性が高いため、河川の安全性の確保をお願いしたい。 ・ 支川の久茂地川の河口付近において、観光客が散策して楽しめる場所となるように、南国沖縄らしい風景の創出や多自然川づくりに取り組んで頂きたい。				